

愛知県経済の現状と見通し<2014年10月>

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	景気は弱い動き ----- 景気は消費増税や天候不順等の影響を受けて弱い動きが続く。		
	当面の見通し	景気は緩やかに持ち直す見通し ----- 景気は弱い動きが続くものの、緩やかに持ち直す見通し。		
家計部門	個人消費	やや弱い動き ----- 個人消費は、消費増税や天候不順の影響等によりやや弱い動き。		
	雇用	回復している ----- 有効求人倍率、新規求人倍率とも全国レベルでも高水準を維持。		
	住宅投資	減少 ----- 住宅投資は、消費増税の影響を受けて減少。		
企業部門	企業活動	一部に弱い動き ----- 鉱工業生産指数は2か月ぶりの前年比マイナス。		
	企業倒産	小康状態 ----- 企業倒産は、全体として小康状態を維持。		
海外部門	輸出	一進一退 ----- 名古屋港の輸出金額は2か月ぶりの前年比マイナス。		
公共部門	公共投資	減少傾向 ----- 公共工事請負金額は3か月連続の減少となるなど減少傾向。		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、：上方修正、：据え置き、：下方修正を示す。

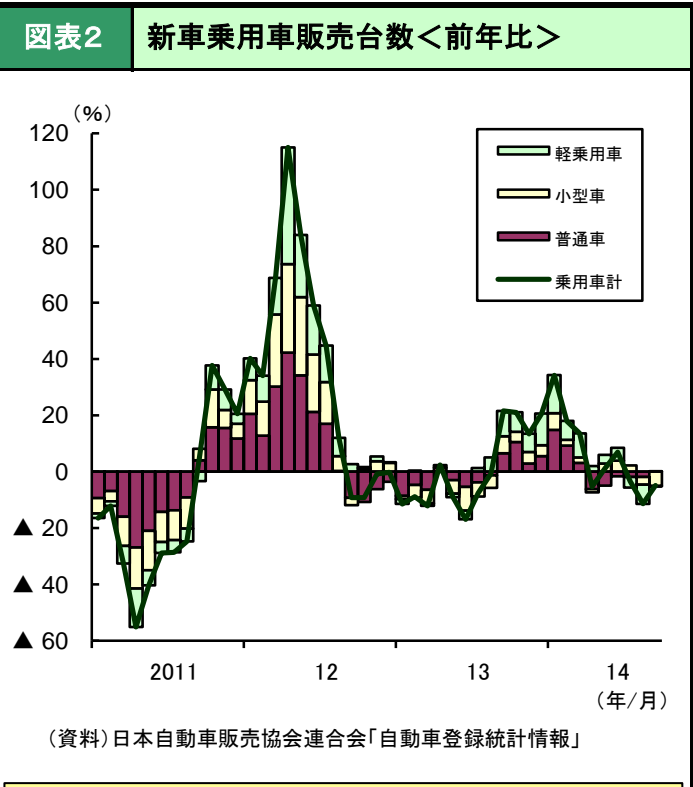
(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、：晴、：晴～曇、：曇、：曇～雨、：雨、を示す。

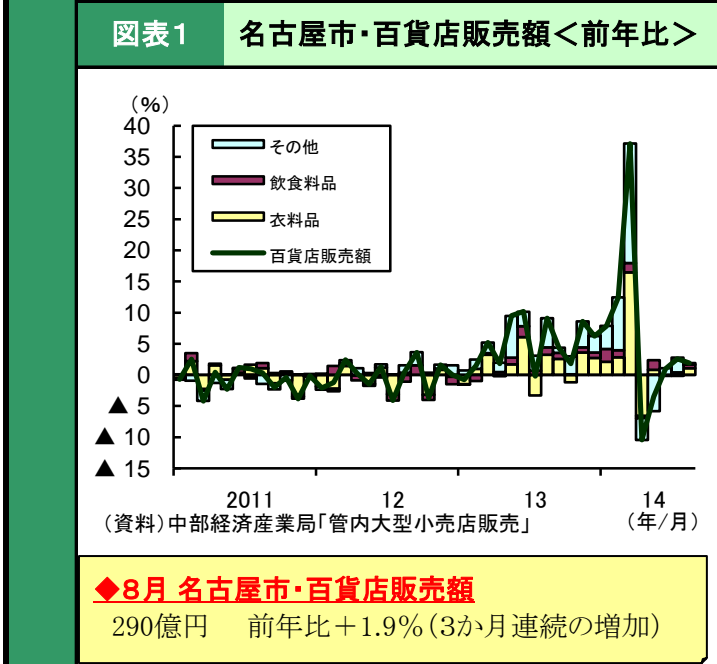
お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話：059-354-7102 Mail: mir@miebank.co.jp

2. 個別項目の動向:家計部門

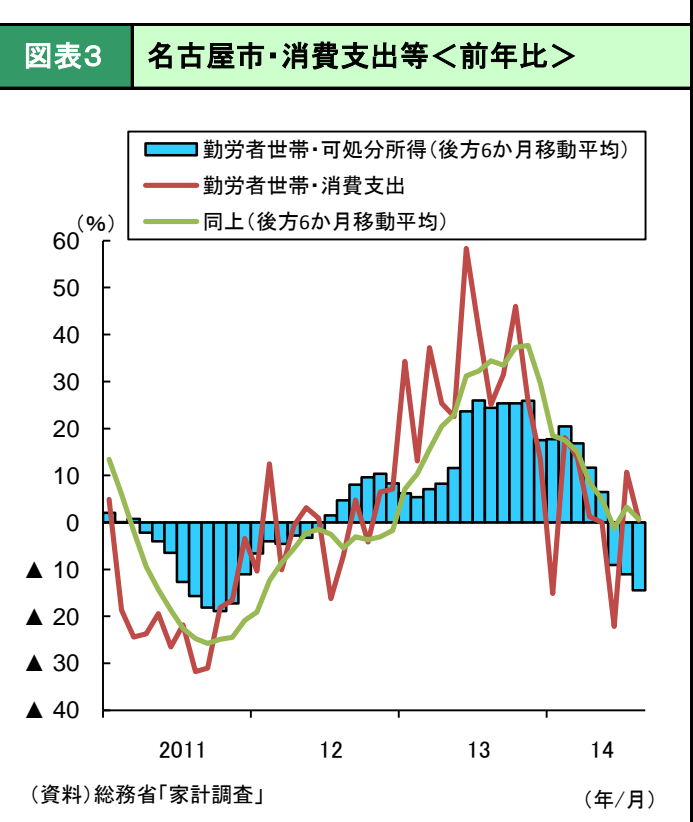
基調判断	やや弱い動き		
基調判断の前月との比較	➡	水準評価	☁
<p>《現状》 『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、8月の名古屋市内百貨店販売額は前年比+1.9%と3か月連続の増加。品目別にみると、主力の衣料品(同+2.2%)がプラスになったことに加え、飲食料品(同+2.6%)や貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含むその他(同+0.8%)がプラスになったことが要因。</p> <p>また、9月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、35,326台・前年比▲4.9%と3か月連続のマイナス。車種別にみると、普通車(同+0.5%)が6か月ぶりにプラスとなったものの、小型車(同▲14.6%)が大幅なマイナスとなったことが主因。</p> <p>一方、『家計調査』より個人消費の動向を支出者側からみると(図表3)、8月の勤労者世帯消費支出(名古屋市)は前年比+0.5%と小幅ながら2か月連続の増加。</p> <p>《見通し》 消費増税による駆け込み需要の反動はなくなりつつあるが、物価上昇に伴う実質購買力の低下が消費行動に影響を与えている状況。夏から初秋にかけて天候不順等の影響も重なり、個人消費は弱い動きとなるも、雇用・所得環境が堅調なことから、個人消費は緩やかに回復する見通し。</p> <p>乗用車については、消費増税の影響が残るなかで、持ち直しのペースは鈍化する見通し。</p>			



◆9月 新車乗用車販売台数<含む軽>
35,326台 前年比▲4.9% (3か月連続の減少)

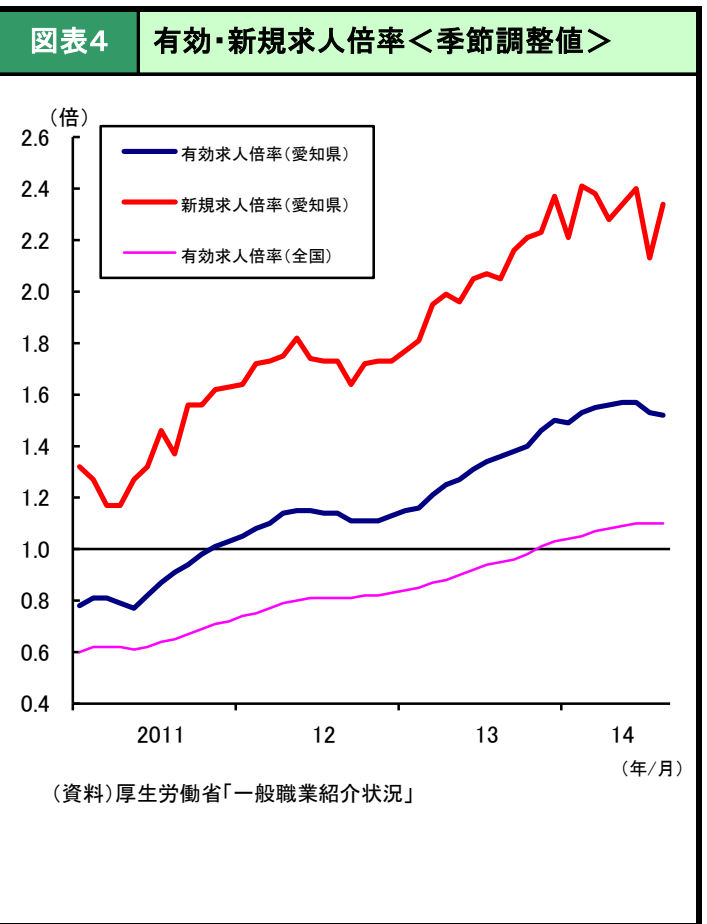


◆8月 名古屋市・百貨店販売額
290億円 前年比+1.9% (3か月連続の増加)

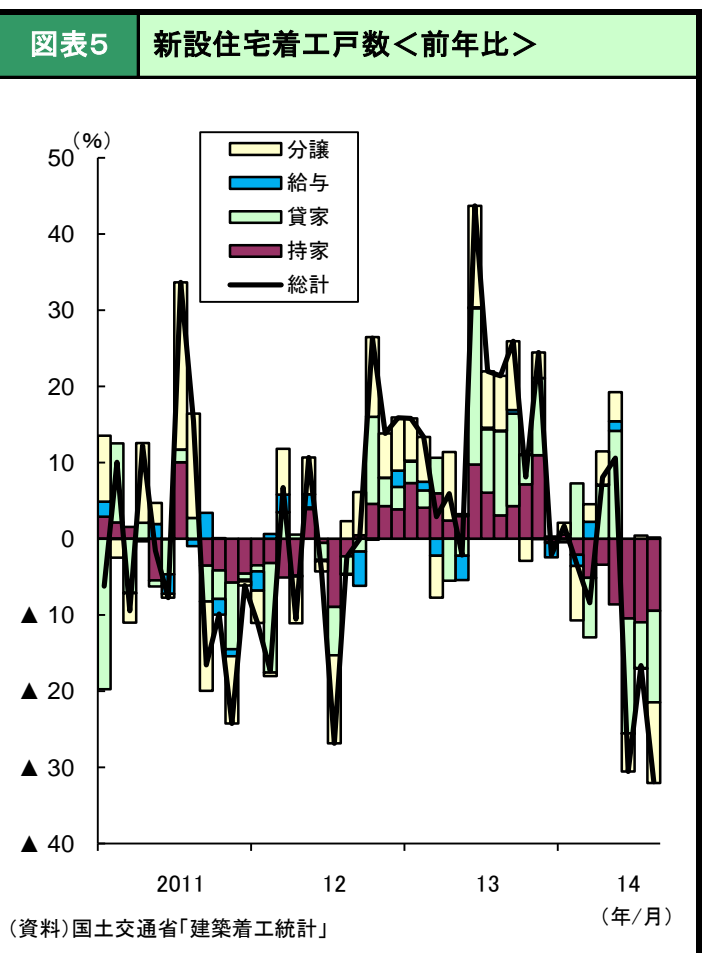


◆8月 勤労者世帯・消費支出
前年比+0.5% (2か月連続の増加)

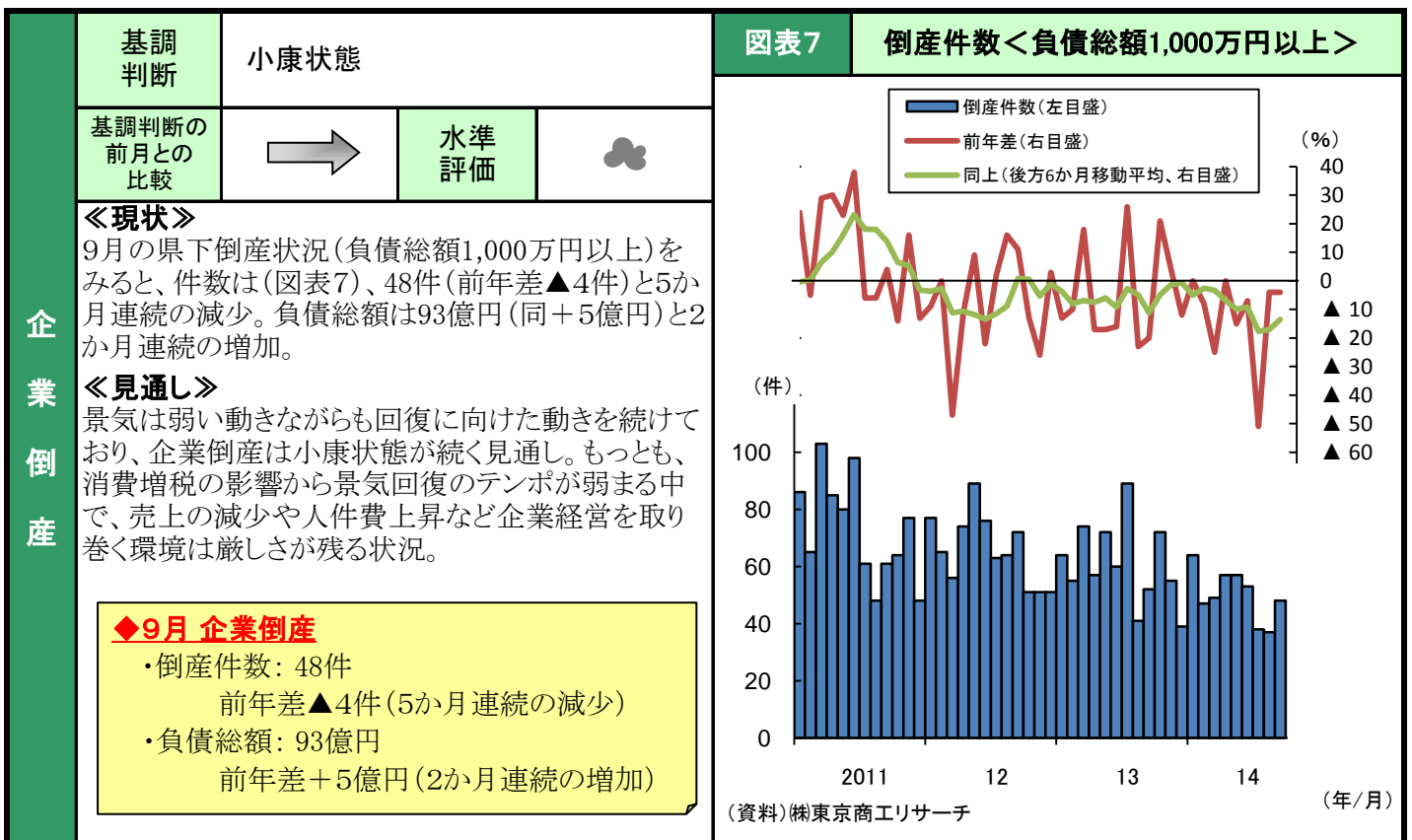
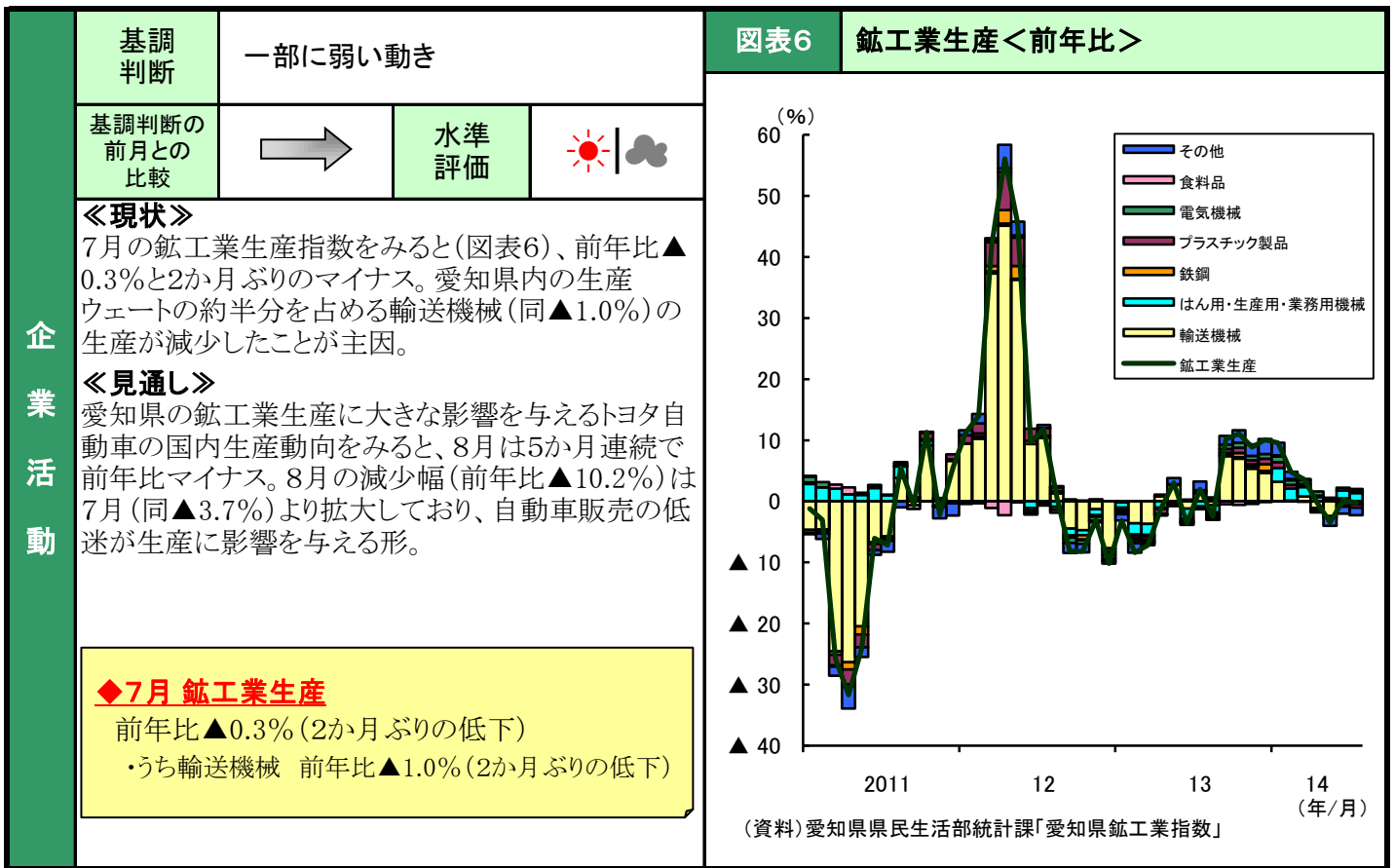
雇用	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀
	<p>《現状》</p> <p>8月の求人倍率をみると(図表4)、有効求人倍率(季節調整値)は1.52倍と2か月連続の低下。新規求人倍率(同)は2.34倍と2か月ぶりの上昇。</p> <p>愛知県は引き続き全国レベルでも高水準で推移しており、有効求人倍率、新規求人倍率ともに東京都に次いで2位。</p> <p>《見通し》</p> <p>主力産業である自動車の販売、生産に落ち込みがみられるものの、サービス業等を中心に雇用環境は堅調を維持する見通し。</p>			
<p>◆8月 求人倍率<季節調整値></p> <ul style="list-style-type: none"> 有効求人倍率: 1.52倍 前月差▲0.01ポイント(2か月連続の低下) 新規求人倍率: 2.34倍 前月差+0.21ポイント(2か月ぶりの上昇) 				



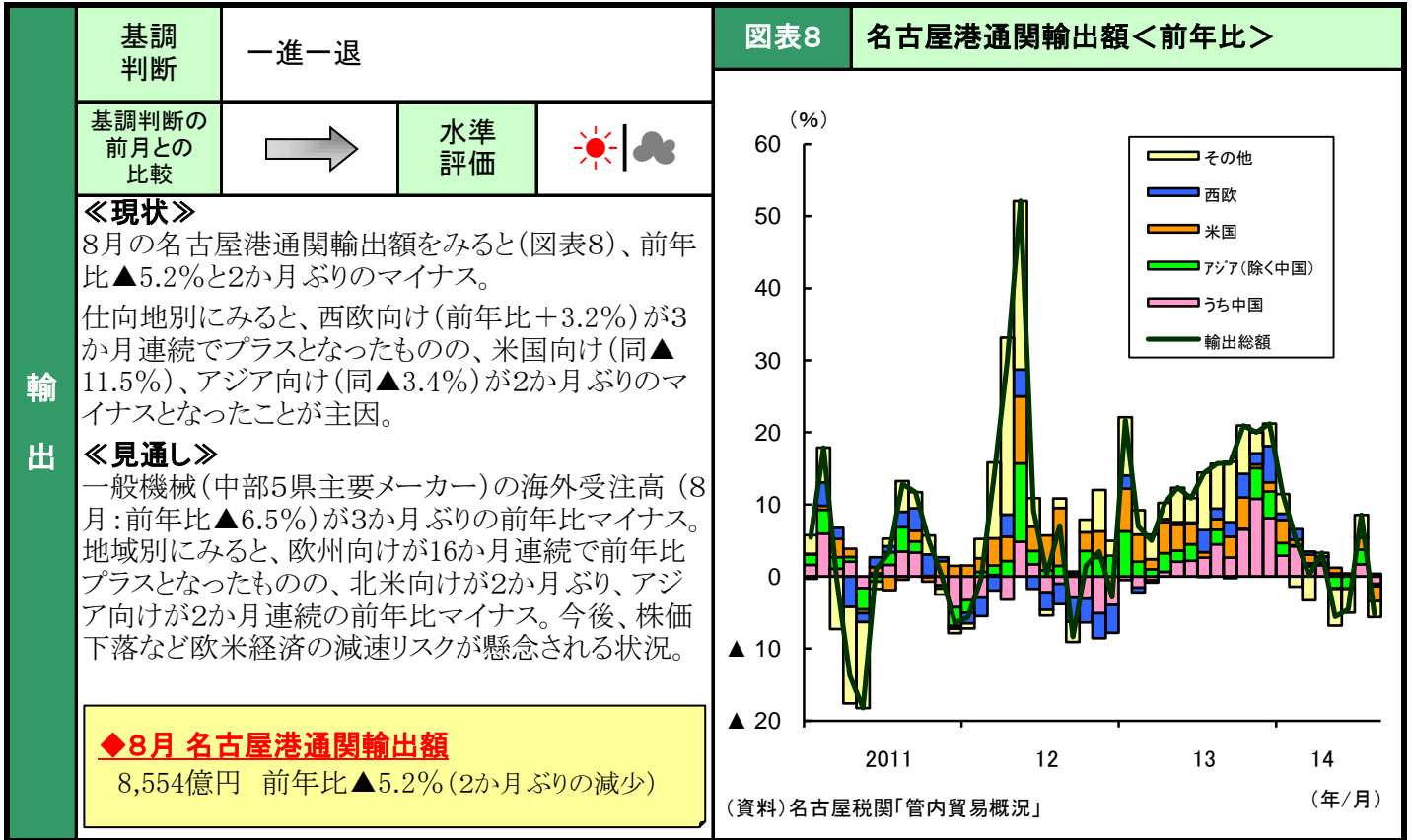
住宅投資	基調判断	減少		
	基調判断の前月との比較	↘	水準評価	☁ ☂
	<p>《現状》</p> <p>8月の住宅着工戸数をみると(図表5)、3か月連続の前年比マイナス。利用関係別にみると、持家(前年比▲27.8%)が7か月連続、貸家(同▲34.5%)が3か月連続、分譲(同▲34.1%)が2か月ぶりのマイナスになるなど全ての項目で大幅なマイナスに。</p> <p>《見通し》</p> <p>持家に消費増税による駆け込み需要の反動が残り、貸家も大幅な減少。来年10月の消費税率引き上げが不透明感を増すなかで、住宅購入については様子見の動きも。</p>			
<p>◆8月 住宅着工戸数</p> <p>4,268戸 前年比▲31.9%(3か月連続の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> 持家: 1,541戸 前年比▲27.8%(7か月連続の減少) 貸家: 1,430戸 前年比▲34.5%(3か月連続の減少) 分譲住宅: 1,282戸 前年比▲34.1%(2か月ぶりの減少) 				



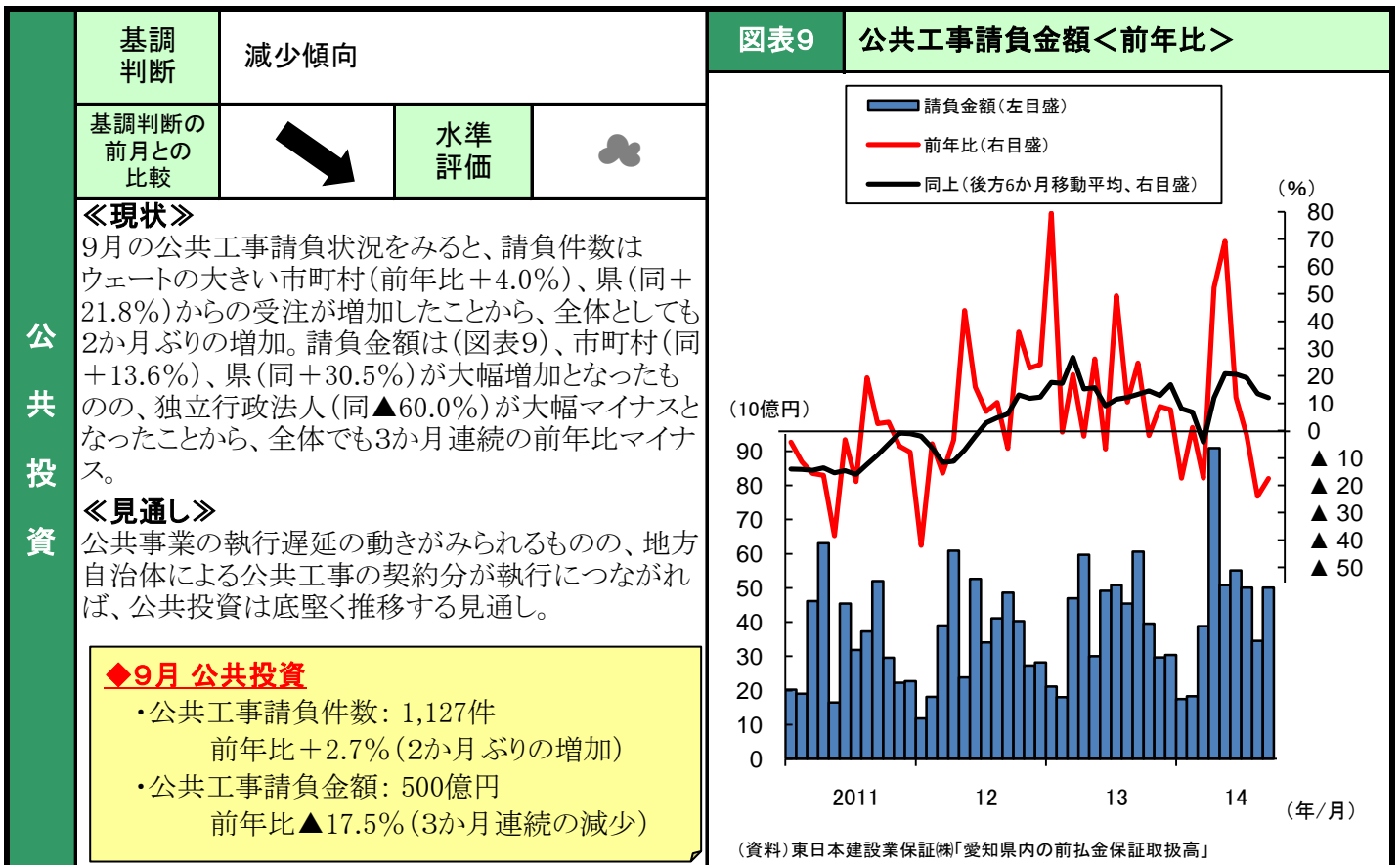
3. 個別項目の動向:企業部門



4. 個別項目の動向:海外部門



5. 個別項目の動向:公共部門



以上

景 気 指 標

三重銀総研
2014/10/27

＜愛知県＞

(注) ()内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2012 年	2013 年	2013年				2014年				
			10~12	1~3	4~6	7~9	5月	6月	7月	8月	9月
鉱工業生産指数	(10.5) -	(1.3) -	(10.0) < 1.7>	(5.8) < 4.2>	(▲ 1.1) <▲ 3.6>		(▲ 3.4) < 0.4>	(0.2) <▲ 5.8>	(▲ 0.3) < 2.0>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,433 (3.5)	25,184 (▲ 1.0)	6,295 (4.5)	6,357 (6.7)	6,297 (0.7)	6,646 (▲ 0.5)	2,061 (▲ 1.6)	2,243 (1.6)	2,348 (0.8)	2,064 (▲ 2.5)	2,233 (0.1)
新設住宅着工戸数(戸)	56,280 (▲ 1.1)	64,478 (14.6)	17,370 (9.6)	14,257 (▲ 3.4)	13,876 (▲ 7.3)		4,814 (10.6)	4,339 (▲ 30.5)	4,513 (▲ 16.6)	4,268 (▲ 31.9)	
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,107 (18.5)	3,700 (19.1)	825 (▲ 3.0)	831 (▲ 12.1)	933 (▲ 3.3)		298 (▲ 9.4)	297 (▲ 31.4)	357 (▲ 20.2)	287 (49.6)	
公共工事請負金額(億円)	4,258 (4.8)	4,815 (13.1)	996 (4.0)	746 (▲ 13.5)	1,968 (41.8)	1,346 (▲ 14.2)	508 (69.2)	551 (12.1)	500 (▲ 1.6)	345 (▲ 24.0)	500 (▲ 17.5)
大型小売店販売額(店舗調整済)	(▲ 0.9)	(1.2)	(1.8)	(8.8)	(▲ 2.6)		(▲ 2.4)	(▲ 0.3)	(0.0)	(0.9)	
百貨店	(▲ 0.5)	(4.1)	(4.9)	(18.5)	(▲ 4.3)		(▲ 3.4)	(0.6)	(2.2)	(1.8)	
スーパー	(▲ 1.1)	(▲ 0.2)	(0.1)	(4.0)	(▲ 1.8)		(▲ 1.8)	(▲ 0.7)	(▲ 1.3)	(0.6)	
新車登録・販売台数(台)	268,187 (27.5)	256,568 (▲ 4.3)	62,983 (13.6)	86,127 (15.4)	51,279 (▲ 2.9)	63,279 (▲ 4.3)	15,927 (▲ 2.9)	21,330 (3.2)	22,694 (0.4)	15,998 (▲ 6.8)	24,587 (▲ 6.9)
有効求人倍率(季調済)	1.12	1.31	1.45	1.52	1.57		1.57	1.57	1.53	1.52	
新規求人倍率(季調済)	1.71	2.04	2.27	2.33	2.34		2.34	2.40	2.13	2.34	
名目賃金指数(調査産業計)	(0.5)	(11.0)	(2.6)	(0.2)	(0.5)		(1.9)	(0.2)	(3.3)		
実質賃金指数(同)	(0.3)	(0.9)	(0.7)	(▲ 1.6)	(▲ 3.4)		(▲ 2.3)	(▲ 3.8)	(▲ 0.3)		
所定外労働時間(同)	(9.3)	(0.0)	(5.2)	(5.1)	(4.0)		(3.5)	(5.3)	(5.0)		
常用雇用指数(同)	(0.5)	(0.2)	(▲ 0.2)	(0.7)	(1.0)		(1.3)	(1.0)	(0.9)		
企業倒産件数(件)	789	730	166	160	167	123	57	53	38	37	48
(前年同期(月)差)	(▲ 87)	(▲ 59)	(13)	(▲ 33)	(▲ 22)	(▲ 59)	(▲ 15)	(▲ 7)	(▲ 51)	(▲ 4)	(▲ 4)
名古屋港 輸出(億円)	96,764 (6.8)	110,584 (14.3)	29,021 (20.7)	27,106 (5.2)	27,396 (▲ 2.2)		8,506 (▲ 5.6)	8,881 (▲ 4.6)	10,227 (8.6)	8,554 (▲ 5.2)	
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(0.2)	(0.1)	(1.1)	(1.4)	(3.2)		(3.2)	(3.2)	(3.0)	(2.8)	

＜東海3県(三重・愛知・岐阜)＞

	2012 年	2013 年	2013年				2014年				
			10~12	1~3	4~6	7~9	5月	6月	7月	8月	9月
鉱工業生産指数	(9.4) -	(0.6) -	(6.6) < 0.6>	(9.5) < 5.6>	(2.3) <▲ 5.1>		(1.5) <▲ 4.9>	(1.0) < 3.4>	(4.7) <▲ 6.2>	(0.6) < 0.6>	
新設住宅着工戸数(戸)	76,468 (▲ 0.6)	87,806 (14.8)	23,995 (11.3)	19,002 (▲ 4.3)	18,755 (▲ 10.7)		6,365 (1.3)	6,198 (▲ 1.6)	6,192 (▲ 26.5)	5,924 (▲ 25.9)	
大型小売店販売額(全店)	(▲ 0.5)	(1.0)	(1.7)	(8.1)	(▲ 1.9)		(▲ 4.0)	(▲ 1.7)	(▲ 0.1)	(1.9)	
同 (既存店)	(▲ 0.9)	(0.7)	(1.3)	(7.6)	(▲ 2.6)		(▲ 4.9)	(▲ 2.3)	(▲ 0.8)	(0.6)	
有効求人倍率(季調済)	1.04	1.21	1.35	1.41	1.45		1.44	1.45	1.46	1.41	
新規求人倍率(季調済)	1.58	1.87	2.07	2.13	2.14		2.09	2.14	2.19	2.06	
企業倒産件数(件)	1,086	1,015	246	240	236	186	85	82	69	52	67
(前年同期(月)差)	(▲ 92)	(▲ 71)	(30)	(▲ 15)	(▲ 30)	(▲ 62)	(▲ 1)	(▲ 11)	(▲ 18)	(▲ 9)	(▲ 4)
域内外国貿易 純輸出(億円)	50,108	60,891	16,610	11,701	14,254		5,853	3,479	4,922	3,824	
輸出(億円)	132,058 (8.4)	151,826 (15.0)	40,288 (23.7)	37,453 (8.2)	37,828 (▲ 1.8)		13,676 (4.8)	11,642 (▲ 6.5)	12,510 (▲ 4.1)	11,825 (▲ 3.8)	
輸入(億円)	81,950 (5.3)	90,936 (11.0)	23,678 (22.0)	25,753 (19.7)	23,574 (5.6)		7,823 (0.8)	8,162 (3.4)	7,589 (13.7)	8,001 (4.0)	